

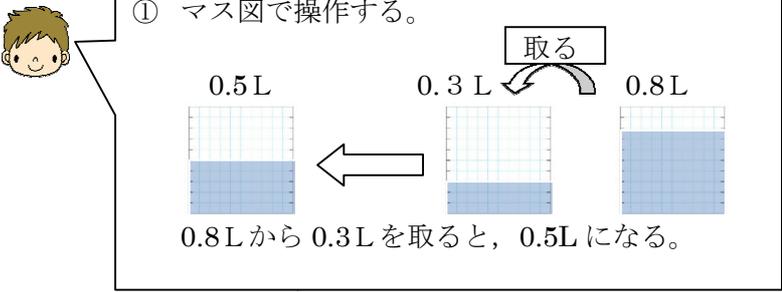
【ねらい】
 小数第1位どうしの小数の加法の計算の仕方を理解し、それらの計算ができる。

課題	牛にゆうが0.8Lあります。そのうち、0.3L飲みました。牛にゆうは何Lのこっていますか。 式 $0.8 - 0.3$	式を書きましょう	
		前回と違うところは？	
		小数のひき算のしかたを考えよう	

- 既習事項
- ①マス図を使って考えてみよう。
 - ②数直線を使ってみようかな。
 - ③タイル図を使ってやってみよう。
 - ④小数のしくみの時の考えを使ってみよう。

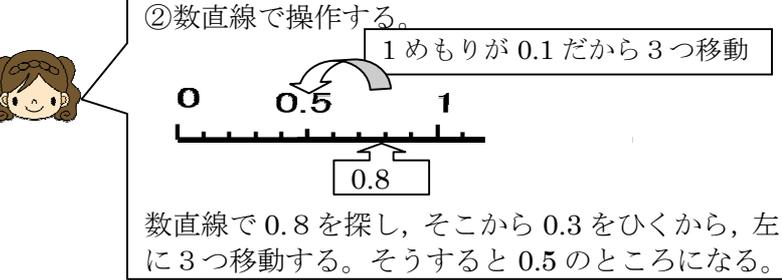
自力解決

① マス図で操作する。



0.8Lから0.3Lを取ると、0.5Lになる。

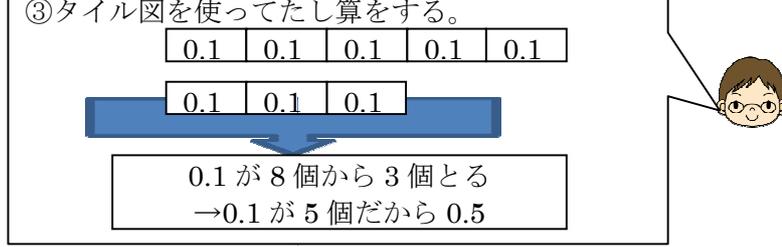
② 数直線で操作する。



1めもりが0.1だから3つ移動

数直線で0.8を探し、そこから0.3をひくから、左に3つ移動する。そうすると0.5のところになる。

③ タイル図を使ってたし算をする。



0.1が8個から3個とる
 →0.1が5個だから0.5

④ 0.1がいくつかを考えて、整数のたし算と同じようにする。

0.8は0.1が8個、0.3は0.1が3個だから
 引くと0.1が5個になる

0.1が5個と言うことは0.5だ。

- 指導上の留意点
- 既習事項を算数コーナーなどに掲示しておくこと、考える手がかりになります。見通しの立たない児童には、前時のたし算の時に使ったものを振り返らせると良いです。
 - マス図や数直線等を使う児童には、実態に応じて、ノートに書かせるかマス図のプリントを用意しておくかしましょう。
 - 図で表すだけではなく、言葉での説明もノートに書かせると良いです。
 - 早く終わった児童には、別の方法を考えるように声掛けしても良いでしょう。

1 自分の考えを発表する。



① (マス図を提示し、操作しながら)
1L マスで、0.1L の目盛り 8 つ分 0.8L から 0.1L の目盛り 3 つ分 0.3L の牛にゆうを取ると 0.1L の目盛り 5 つ分 0.5L になった。
マスを使うことで、目で見て分かった。



② (数直線を提示し、操作しながら)
0.1 の目盛り 8 つ目のところから、左に 3 つ動かすと 0.5 になった。
左に動かすのはひくと減るからで、3 つ動かしたのは、0.3 は 0.1 が 3 つ分だから。
数直線を使ったら答えがすぐに出た。



③ (タイル図を提示しながら)
0.1 のタイル 8 つから 0.1 のタイル 3 つを合わせると、0.1 のタイル 5 つ分になった。だから、答えは 0.5 だ。
タイルの数を数えるので分かりやすかった。



④ (発表用ボードに書いたものを提示しながら)
0.1 が 8 こど 0.1 が 3 個だから、ひいて 5 こになる。
0.1 が 5 こだから答えは 0.5 になった。
図をかかなくても計算できた。

2 共通点を話し合う。

「いろいろな方法があったけど、考えで同じところは何でしょうか。」



みんなたし算の時と同じように 0.1 が何個分かで考えている。



何個分かで考えると、ひき算も整数の時と同じようにできてるよ。

3 まとめる。

小数のひき算では、それぞれ 0.1 が何こ分かを考えると整数と同じようにひき算できる。

●それぞれの考えを発表した直後に、0.1がいくつ分かということを使ったことを確かめながら、要点を書いておくと、その後の共通点探しをしやすい、まとめにつながります。

●発表用に掲示する方法を決めて、準備をしておきましょう。
提示方法例：掲示用黒板
画用紙
実物投影機
等

○ 適用問題に取り組む。(教科書や単元問題ライブラリー)

●教科書の問題でも1は0.1が10個ということを理解してから取り組んだ方が良いものもあるので、適応問題も吟味して取り組んでください。
●計算のたしかめをする際には、学習した数直線やマス図などを使うようにすると良いでしょう。